

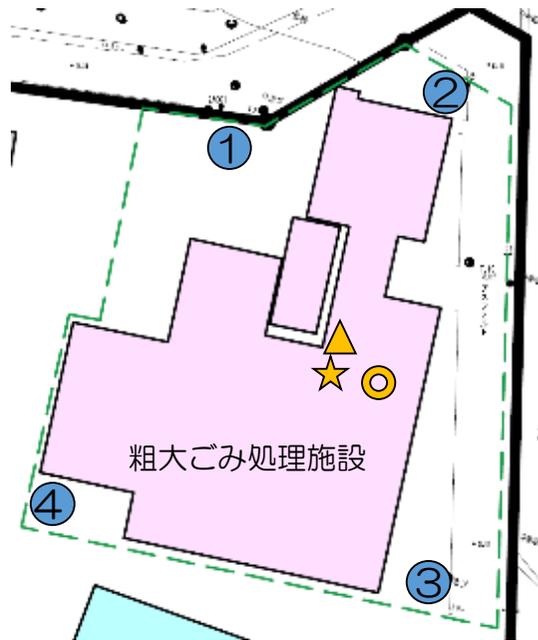
## アスベスト測定結果（粗大ごみ処理施設解体）

令和2年8月5日更新

測定日	測定時の状況 (※1)(※5)	測定地点(※2)と測定結果(※3)							管理値	測定時の気象状況				
		測定地点1	測定地点2	測定地点3	測定地点4	作業場近傍1	作業場近傍2	作業場		天候	気温 (°C)	湿度 (%)	風向	風速 (m/s)
令和2年7月13日	作業開始前	0.11 本/L	0.11 本/L	0.17 本/L	0.17 本/L	/	/	0.45 本/L	1 本/L 以下 (※4)	曇	21.4	80	南南東	1.8
令和2年7月16日	作業中	0.17 本/L	0.34 本/L	0.28 本/L	0.28 本/L	0.81 本/L	0.63 本/L	/		曇	23.5	70	東南東	0.4
令和2年7月22日	養生撤去前	/	/	/	/	/	/	0.45 本/L		小雨	25.2	100	北北西	0.8
令和2年7月31日	作業後	0.06 本/L	0.11 本/L	0.06 本/L	0.06 本/L	/	/	0.27 本/L		小雨	23.1	98	北東	0.8

※1 アスベストは、粗大ごみ処理施設のパッキンなどの機械部品の一部、床・壁・天井などの建材の一部、1階通路の壁塗料、2階電気室の天井塗料に含まれています。「建築物の解体等に係る石綿（アスベスト）飛散防止対策マニュアル 東京都環境局」に従い、パッキン、建材などは手作業にて取り外し、1階通路の壁塗料は薬品により湿潤させた後手作業にて除去します。2階電気室の天井塗料は、前室、集じん機の設置を行い、手作業にて除去します。1階通路の壁塗料、2階電気室の天井塗料の除去については、作業前、作業中、作業後の測定を行います。また、2階電気室の天井塗料の除去については、作業場と作業場近傍の測定を行います。

※2 測定地点は以下のとおりです。



### 凡例

- 作業場周囲の測定地点  
除去開始前、除去作業中、除去終了後に測定を行います。
- ★ 作業場近傍1（2階電気室 前室の測定地点）  
アスベスト除去作業を行うエリアは密閉養生します。前室とは、そのエリアの入口前に設けるアスベスト漏えい防止のためのエリアです。前室入り口で、除去作業中に測定を行います。
- ▲ 作業場近傍2（2階電気室 集じん機排出口の測定地点）  
アスベスト除去作業を行うエリアは密閉養生します。そのエリアの空気を集じん機で吸いながら作業を行い、吸引した空気は、高性能フィルタで清浄な空気として排出します。除去作業中は、排出口付近で測定を行います。
- 作業場の測定地点（2階電気室）  
作業場内にて測定を行います。

※3

「本/L」とは

大気1リットル中に含まれるアスベスト繊維の本数を表し、測定地点1～4の周辺大気を連続で4時間、作業場近傍の大気を連続で2時間吸引し、顕微鏡でアスベスト繊維の本数を数え、その本数、吸引量及び顕微鏡の視野面積等から算出した結果を表す単位です。

※4

大気汚染防止法や環境確保条例では、解体等工事に関する石綿大気濃度の規制基準は設けられていませんが、一般環境中のアスベスト本数が概ね1本/L以下であることから、漏洩監視の評価の目安としています。「建築物の解体等に係る石綿（アスベスト）飛散防止対策マニュアル 東京都環境局」より。

※5

1階通路及び2階電気室のアスベスト除去作業は、令和2年7月16日（水）から令和2年7月20日（月）まで実施しました。  
(令和2年7月19日（日）は作業は行っていません。)